Operation Guide 2943

CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓓ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

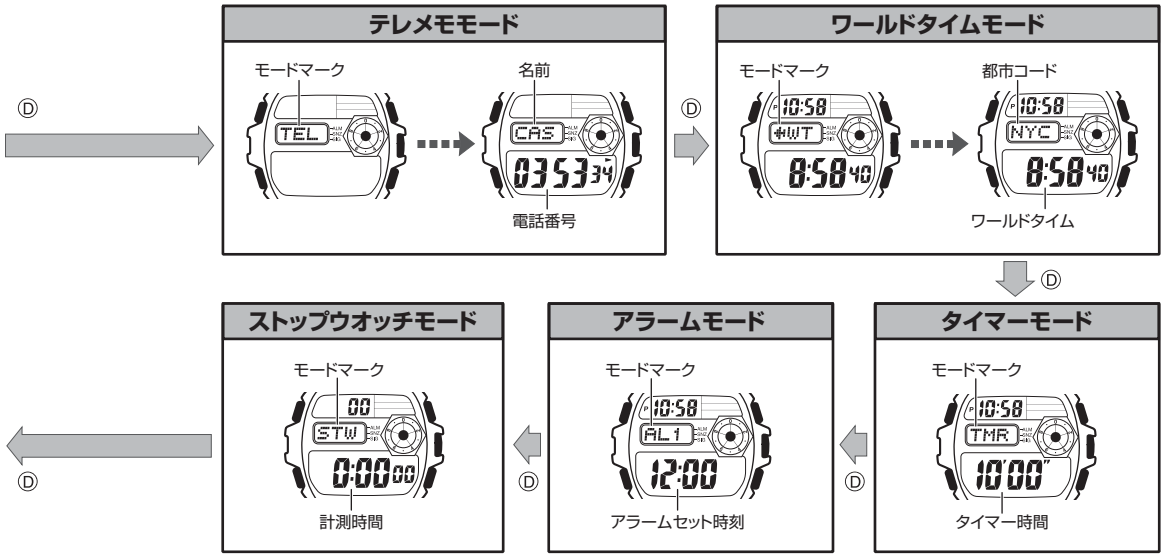
時刻モード

★12/24時間制切り替え
時刻モードのとき、Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

★曜日の見方

SUN：日	MON：月	TUE：火
WED：水	THU：木	FRI：金
SAT：土		

※グラフィック表示は、秒に連動して点灯／消灯します。



電子音／振動の切り替えについて

アラーム・時報、タイマーの報知方法には以下の２種類があり、切り替えることができます。

1 電子音… 電子音でお知らせします。
2 振　動… 振動でお知らせします（バイブマークが点灯）。

※振動を選んでいるときは、モード切替などの操作確認音は鳴りません。

■電子音／振動を切り替える

時刻モードのとき

Ⓔ ボタンを約２秒間押します

➡電子音／振動が切り替わります。
※確認音が鳴った場合は、電子音の設定になります。
※振動後バイブマークが点灯した場合は、振動の設定になります。

ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して点灯させる
～手動点灯～

どのモードのときでも

Ⓛ ボタンを押します

➡ Ⓛ ボタンを押すとライトが点灯します。

※点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます（「■ ライト点灯時間の切り替え」参照）。

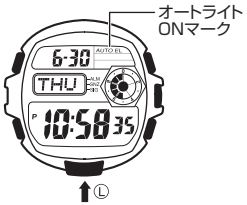
※ オートライトOFFのときもⓁボタンを押すと点灯します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■時計を傾けて点灯させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても時計を傾けるだけでライトが点灯する便利な機能です。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約1.5秒間または約3秒間点灯します。

準備：どのモードのときでも、Ⓛ ボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON(オートライトONマーク点灯)にします。



※オートライトONのとき、Ⓛ ボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる

※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。

〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、オートライトONにしてから約6時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓛ ボタンを約2秒間押し続けてオートライトONマークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間または約3秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

■ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押します

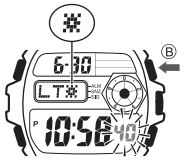
➡秒が点滅します。

2. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。

※ ⁘ マーク＝約1.5秒間
※ マーク＝約3秒間



3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

テレメモ機能の使い方

時刻モードからⒹボタンを押して、テレメモモードに切り替えます。

テレメモモードでは、1件につき名前8文字、電話番号12桁を最大30件メモリーできます。

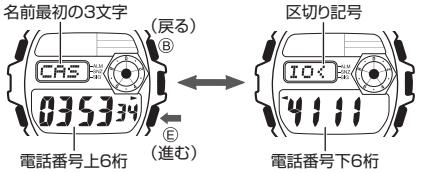
※テレメモモードに切り替えると、モードマークを表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。
※データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート*）が行なわれます。

*自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順はアルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（－．：／）です。

■データのサーチ

テレメモモードのとき、ⒺまたはⒷボタンを押します

➡ Ⓔ ボタンを押すごとに名前順に進み、Ⓑ ボタンを押すごとに逆方向に進みます。
※押し続けると早送りします。
※名前が4文字以上のときは、右から左に流れて表示されます。



■データを入力する

1. 残り本数を表示させる

テレメモモードのとき、Ⓒボタンを押します

※ データがすでに30件メモリーされているときは"FULL"と表示されます。このときは、不要なデータを消去しておいてください（「■データを消去する」参照）。

2. セット状態にする

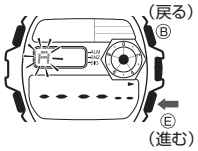
Ⓐボタンを約1秒間押します

➡ 名前部1文字目が点滅します。

3. 点滅箇所のセット

ⒺまたはⒷボタンを押します

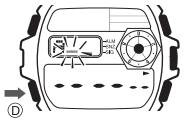
➡ Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓔ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



4. セット箇所を選ぶ

Ⓓボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1文字目～8文字目➡電話番号1桁目～12桁目➡名前部1文字目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



※ 名前部の入力がすべて終わりましたら、Ⓓ ボタンを押して点滅箇所を電話番号部に移動させます。

3.～4.の操作を繰り返して、データを入力していきます

※ 名前は最大8文字、電話番号は最大12桁まで入力できます。
※ 入力できる文字は、名前部セットのときは（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（－．：／）で、番号部セットのときは－、0～9、（空白）です。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡ 点滅が止まります。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■データを修正する

1. ⒺまたはⒷボタンを押して修正したいページを選びます

2. Ⓐボタンを約2秒間押します

➡ 名前部の1文字目が点滅します。

3. 修正したい部分までⒹボタンを押して点滅を送り、Ⓔ または Ⓑ ボタンを押して文字（数字）を修正します

4. 修正が終わりましたら、Ⓐボタンを押します

■データを消去する

1. ⒺまたはⒷボタンを押して消去したいページを選びます

2. Ⓐボタンを約2秒間押します

➡ 名前部の1文字目が点滅します。

3. ⒺボタンとⒷボタンを同時に押します

➡ "CLEAR"と表示後、データが1件消去されます。
※ このとき引き続き新たなデータを入力することができます。

4. 消去が終わりましたら、Ⓐボタンを押します

ワールドタイムの使い方

時刻モードからⒹボタンを2回押して、ワールドタイムモードに切り替えます。

ワールドタイムモードでは、世界28都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。
※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓔまたは Ⓑボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。
※ Ⓔ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りができます。

■ワールドタイムの合わせ方

ワールドタイムの時刻は、表示される都市のうち、ある1つの時刻を合わせると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

1. 都市コードを選ぶ

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒺまたはⒷボタンを押して、セットしたい都市コードを選びます。

例）都市コード "TYO"（東京）をセットする

2. セット状態にする

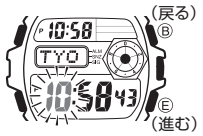
Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡「時」が点滅します。

3. 「時」のセット

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

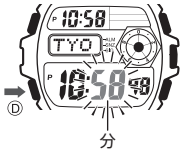
➡Ⓔ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓔ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。



4. 「分」のセット

Ⓓ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。「時」のセットと同様にⒺまたはⒷ ボタンでセットします。
※ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

1. 設定したい都市を選ぶ

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒺまたはⒷボタンを押して、設定したい都市コードを選びます。

2. ON／OFF を切り替える

Ⓒ ボタンを約 1 秒間押します

➡Ⓒ ボタンを約 1 秒間押すごとにサマータイムの ON／OFF が切り替わります。
※ サマータイムが ON のときは、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。
※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、"GMT" 表示のときはサマータイムの設定はできません。

■都市コード一覧

コード	都市名	時差
PPG	パゴパゴ	–11
HNL	ホノルル	–10
ANC	アンカレジ	–9
LAX	ロサンゼルス	–8
DEN	デンバー	–7
CHI	シカゴ	–6
NYC	ニューヨーク	–5
CCS	カラカス	–4
RIO	リオデジャネイロ	–3
–2		–2
–1		–1
GMT	＜グリニッジ標準時＞	+0
LON	ロンドン	+0
PAR	パリ	+1
CAI	カイロ	+2
JRS	エルサレム	+2

コード	都市名	時差
JED	ジェッダ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9
ADL	アデレード	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌーメア	+11
WLG	ウェリントン	+12

※この表は2004年6月現在作成のものです。
※時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

タイマーの使い方

時刻モードからⒹボタンを3回押して、タイマーモードに切り替えます。

タイマー時間は分単位で60分まで（リセット時間は1分から5分まで）セットすることができ、1秒単位で減算計測を行ないます。
また、本機ではリセット時間から計測を簡単にやり直すこともできます。

■ タイマーの種類

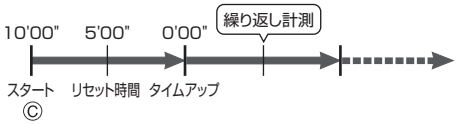
本機のタイマーは2種類あり、以下のように計測を行ないます。本機はヨットやサーフィンのレースに使用すると大変便利です。

●オートリピートタイマー

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

※繰り返し計測は合計8回行なうと、自動的に計測がストップします。

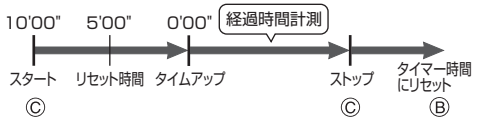
例）タイマー時間＝10分、リセット時間＝5分



●リピートタイマー（経過時間自動計測）

タイムアップすると自動的に経過時間計測を行ないます。

例）タイマー時間＝10分、リセット時間＝5分



★予告音について
リセット時間の10秒前から1秒ごとに電子音が鳴ります。リセット時間を経過すると、1分ごとに電子音が鳴ります。タイムアップの30秒前に電子音が鳴ります。

★タイムアップ音について
タイムアップの10秒前から1秒ごとに電子音が鳴ります。
※予告音・タイムアップ音とも、振動を選んでいるときは電子音は鳴らず、振動でお知らせします。

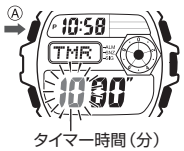
■ タイマーのセット

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押します

➡タイマー時間の「分」が点滅します。

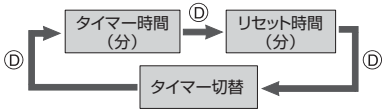
※計測ストップ状態およびリセット時間からは、セット状態に切り替わりません。このようなときは、Ⓑボタンを押してタイマー時間にリセットしてから、Ⓐボタンを約1秒間押すとセット状態になります。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



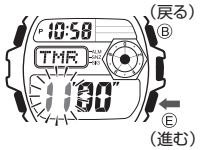
3. 点滅箇所のセット

★「タイマー時間」「リセット時間」セットのときは…

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓔボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓔ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りができます。



※タイマー時間は1分（1'00"）～60分（60'00"）までセットできます。

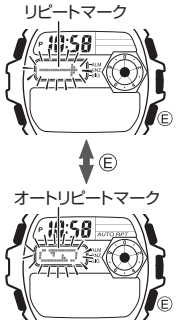
※リセット時間は1分（1'00"）～5分（5'00"）までセットできます。リセット時間はタイマー時間を超えてセットすることはできません。

★「タイマー切替」のときは…

Ⓔ ボタンを押します

➡Ⓔボタンを押すごとにオートリピートタイマーとリピートタイマーが切り替わります。

※ONにすると、オートリピートタイマーになり、オートリピートマークが点灯します。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

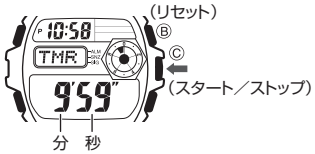
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



●計測ストップ後Ⓑボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（タイマー時間にリセット）。
●ロスタイムがあるときは、Ⓒボタンでストップ後、もう一度Ⓒボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。
●計測中にⒷボタンを押すと、リセット時間を表示して計測がストップします。その後、Ⓒボタンを押すと、リセット時間から計測を再開します。
●リセット時間表示状態でⒷボタンを押すと、タイマー時間にリセットされます。
●予告音が鳴っているときは、ボタン操作はできません。
●リピートタイマーで、経過時間計測中にⒸボタンを押すと、計測がストップします。ストップ後Ⓑボタンを押すと、タイマー時間表示に戻ります。

アラーム・時報の使い方

時刻モードからⒹボタンを4回押して、アラームモードに切り替えます。

■ アラーム・時報について

●通常アラーム（アラーム１～アラーム３）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）

設定した時刻に 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回（約 30 分間）報音を繰り返します。
なお、スヌーズアラームは、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

●時報

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

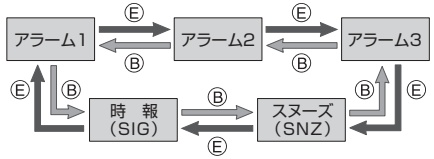
アラーム・時報とも、振動を選んでいるときは電子音は鳴らず、振動でお知らせします。
※「■ 電子音／振動を切り替える」参照。

■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓔ または Ⓑ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



2. セット状態にする

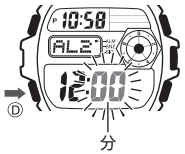
Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡「時」が点滅します。
※ アラーム ON マークが点灯し、自動的にアラーム ON になります。

3. セット箇所を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓔ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
※ 基本時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

手順 3. と 4. の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON／OFF 設定

準備：Ⓔ または Ⓑ ボタンを押して、設定したいアラームまたは時報（SIG）表示を選びます。

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに、アラーム・時報の ON／OFF が切り替わります。
※ それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

<アラーム2表示>
アラームONマーク

〈スヌーズアラーム表示〉
アラームONマーク

スヌーズマーク

〈時報表示〉
時報ONマーク

■ 電子音／振動を止めるには

いずれかのボタンを押します。
※スヌーズアラーム機能中のときは、約5分後に再び鳴り出します（スヌーズ中はスヌーズONマークが点滅します）。
※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
●アラームモードでスヌーズアラームをOFFにしたとき。
●アラームモードでスヌーズアラームをセット状態にしたとき。
●時刻モードで時刻セット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードで Ⓔ ボタンを押し続けると、押している間、電子音または振動のモニターができます。

ストップウオッチの使い方

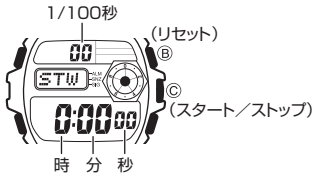
時刻モードからⒹ ボタンを5回押して、ストップウオッチモードに切り替えます。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。



●計測中に Ⓑ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPL”表示）。
※ スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
●計測終了後 Ⓑ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓒ スタート → Ⓒ ストップ → Ⓑ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓒ スタート → Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 → Ⓒ ストップ → Ⓑ リセット
└スプリットタイム表示┘

●1・2 着同時計測

Ⓒ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓒ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池切れなどで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーのセット

1. セット状態にする

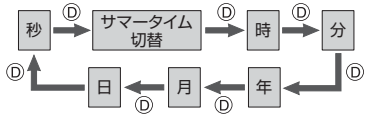
Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡「秒」が点滅します。

2. セット箇所を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

★「秒」セットのときは…

時報に合わせて Ⓔ ボタンを押します

➡「00 秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは 1 分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

※ 秒が点滅しているときに Ⓑ ボタンを押すと、ライトの点灯時間を切り替えることができます（「■ ライト点灯時間の切り替え」参照）。

★「サマータイム切替」のときは…

Ⓔ ボタンを押します

➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。

※ ON ＝サマータイム ON（夏時間）
OFF ＝サマータイム OFF（通常時間）

※ サマータイムを ON にすると、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間早まります。

＊ サマータイム（DST）については「■ サマータイム（DST）について」参照。

★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

Ⓔ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓔ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。

※ 正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※ カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

★12/24 時間制切り替え

時刻モードのとき、Ⓑ ボタンを押すごとに 12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。